

あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会/東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



たくさんの方が集まる場所では 迷子にさせないようにしましょう

年の初めには、初詣や初売りなど、たくさんの方が集まる場所に出かける機会が増えてくるでしょう。人混みの中では、特に迷子にさせないように注意が必要です。新しい1年を残念なスタートにしてしまわないためにも、親子でしっかり気をつけていきましょう。

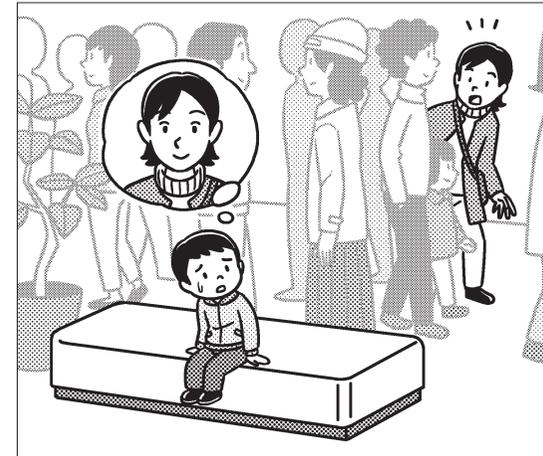
まいごにならないように おうちの おとなのひとと てをつなごうね



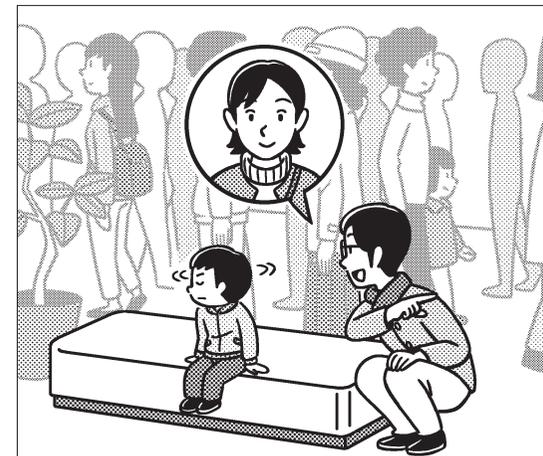
ひとが たくさん あつまる ばしょで まいごになったら
たいへんだね。おうちの おとなのひとと しっかり てを
つなぎ そばを はなれないように しようね。

保護者の方へ 迷子にならないためには、保護者と子どもがしっかりと手をつなぐことが大切です。用事で手を離さなければならない時にも、子どもを保護者のそばに置き、目を放さないようにしましょう。そして、子どもには「迷子になってしまったとしても、必ず見つけ出すからね」ということを約束しておき、そのためには「無闇に移動しない」「知らない人にはついていかない」ということを約束させましょう。また、万が一の時には、店員や駅員、警備員や警察官などに助けを求めるように教えておきましょう。

もしも まいごに なって しまったら



そのばを うごかない
おうちの ひとを さがして
あるき まわったら おうちの
ひとも みつけられないよ。
まいごに なった ばしょで
おうちの ひとが みつけて
くれるのを まとう。



ついて いかない
知らない ひとが こえを
かけて きても ぜったいに
ついて いては だめだよ。
「おうちの ひとを さがして
あげるよ」と いわれても
はっきりと ことわろうね。



おみせの ひとに いう
おうちの ひとが なかなか
みつけて くれない ときには
おみせの ひとに いうね。
えきの なかで まいごに
なった ときには えきいんに
いうね。

2月号では「電車に乗る時の注意」について取り上げます。